

09 日本国特許庁 (JP)

10 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58—109879

51 Int. Cl.³
G 11 B 23/18

識別記号

片内整理番号
7177 5D

43 公開 昭和58年(1983)7月26日

審査請求 有

(全 頁)

録音媒体

12号 オグラ宝石精機工業株式会
社内

出 願 昭57-4100

出 願 人 オグラ宝石精機工業株式会社

出 願 昭57(1982)1月18日

東京都大田区大森北5丁目7番
12号

考 案 者 小倉康三郎

東京都大田区大森北5丁目7番

代 理 人 弁理士 南一清

明 細 書

1. 考案の名称

録音媒体

2. 実用新案登録請求の範囲

録音媒体にバックミュージック録音部分と音声録音部分とを別々に構成してなる録音媒体。

3. 考案の詳細な説明

本考案は録音媒体の改良に関するものである。
従来から、カラオケ専用としてカセットテープ（エンドレステープを含む）が使用されてきたが、バックミュージックのみ録音されているためカラオケにのみしか使用することができず、又選曲に際して、知らない曲の途中でかけてしまうと、歌詞カードを見ても曲の流れと歌詞とをどう一致させてよいかわからず巻戻し、早送等のめんどろな操作をしなければならなかつた。又デュエットをしたい場合などには2人以上を必要とし、更に又知らない曲などはバックミュージックだけ聞いても、直ちには歌えないという欠点があつた。

本考案は、バックミュージックのみ、歌詞のみ、取
はバックミュージックと歌詞とを同時に再生する
ことができ、上記の欠点を改良することができる
録音媒体を提供することを目的とするものであつ
て、その要旨とするところは、録音媒体にバック
ミュージック録音部分と音声録音部分とを別々に
構成してなる録音体にある。

図面に示す実施例について本考案を説明すれば
次の通りである。

第1図、第2図に示す第1実施例は、録音媒体の
1例としての録音盤を示すものであつて録音盤(1)
の断面V状の録音溝(2)の一方のチャンネル(2a)
にバックミュージックのみを録音し、他方のチャ
ンネル(2b)に歌を録音しておく。(3)は孔、(4)は
レーベル部、(6)は無音溝である。而して両チャ
ンネル同時再生の場合にはスタイラスを両チャ
ンネル(2a)(2b)同時に接触させて録音盤(1)を作動
させることによりバックミュージックと同時に歌
手の歌も聞くことができ又歌を録音した側のチャ
ンネル(2b)の出力を消すことによりバックミュ

ーソックのみが流れカラオケとして使用することができる。又デュエットで歌う場合には一方のチャンネル(2a)に男性歌手とバックミュージックを録音しておき反対側のチャンネル(2b)に女性歌手とバックミュージックを録音しておき、男性がデュエットをしたい場合には、男性歌手側のチャンネル(2a)の出力を消すことにより女性歌手とのデュエットができ、女性がデュエットでうたいたい場合にはその逆にすればよい。更にビデオディスク用媒体を利用しても同様であり、画面にスーパー(歌詞)と歌手を写し出せば歌詞カードを持ち、見ながら歌わなくてもすむし、他の人も画面を見ながら歌がうたえ、本人のみならず全員で楽しむことができる。

第3図、第4図に示す第2実施例はカセットテープの実施例であり01はカセット02はテープ、03はリームである。テープ02の長方向にバックミュージック録音部分04、と音声録音部分05とをこうどに平行して形成した例を示したものであり、その作用は第1実施例と同様である。本考案は以上の通

りであるから、カラオケとしての使用のみならず通常のレコードとして使用することができ、知らない曲の途中でも歌詞と曲とを一致させることができ1人でのデュエットを可能とする録音媒体を提供することができる効果がある。


4. 図面の簡単な説明

第1図は録音盤の平面図、第2図は第1図の一部の拡大縦断面図、第3図はカセットの平面図、第4図はカセットテープの拡大平面図である。

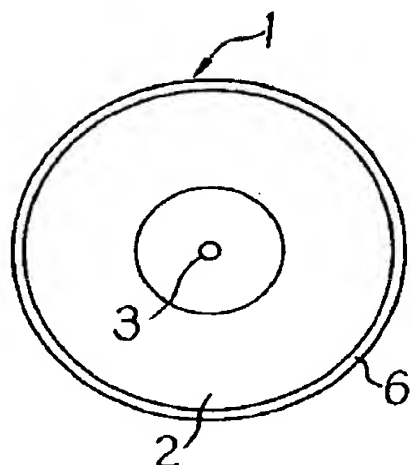
(1)…録音盤、(2)…録音溝、(2a) …一方のチャンネル、(2b) …他方のチャンネル、(12)…カセットテープ、(14)…バックミュージック録音部、(15)…音声録音部。

出願人 オグラ宝石精機工業株式会社

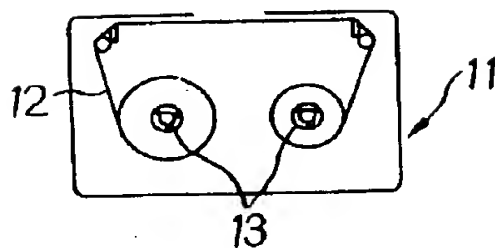
代理人 南

一 清 

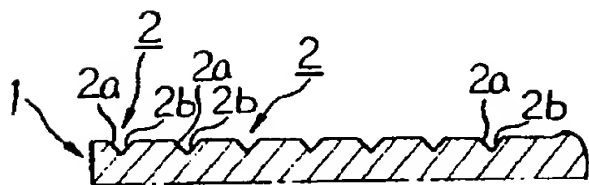
第1図



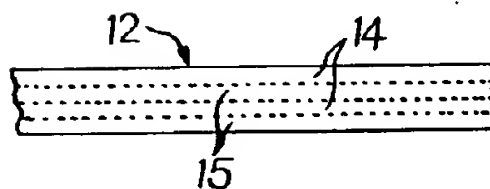
第3図



第2図



第4図



953

代理人 田中 一 斎

生開58 199879

